

Solid State Logic
S O U N D | | V I S I O N



X-Desk User's Guide

日本語版

This documentation is intended to be read along side the 'X-Desk Installation Guide' which is available for download from our website www.solidstatellogic.com

82S6XD0U0A

Solid State Logic

S O U N D | | V I S I O N

Begbroke, Oxford, England OX5 1RU • +44 (0)1865 842300

20 West 46th Street, 2nd Floor, New York, NY 10036, USA • +1 (1) 212 315 1111
Suite 401, 5757 Wilshire Blvd, Los Angeles, CA 90036, USA • +1 (1) 323 549 9090
3-55-14 Sendagaya, Shibuya-Ku, Tokyo 151-0051, Japan • +81 (0)3 5474 1144
7 bis, rue de la Victoire, le Blanc Mesnil, Paris 93150, France • +33 (0)1 48 67 84 85
Via Timavo 34, 20124 Milano, Italy • +39 (0)39 2328 094

Visit SSL at URL: <http://www.solid-state-logic.com>
at URL: <http://www.solid-state-logic.co.jp>

© Solid State Logic

All rights reserved under International and Pan-American Copyright Conventions

Solid State Logic and SSL, XLogic, SuperAnalogue and X-Desk
are trademarks of Solid State Logic

All other product names and trademarks are the property of their respective owners

No part of this publication may be reproduced in any form or
by any means whether mechanical or electronic without the
written permission of Solid State Logic, Oxford, England

As research and development is a continual process, Solid State Logic reserves the right
to change the features and specifications described herein without notice or obligation

E&OE

実際の製品構成は写真のものと若干異なる場合があります。
また性能の向上のため仕様を予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。

日本語版 © Solid State Logic Japan K.K.

Contents

| | |
|---|----|
| Introduction to the X-Desk | 1 |
| X-Desk Channel Strip | |
| Inputs - Channel Input (CH IP), Alternate Input (ALT) | 2 |
| Outputs - Direct Channel outs (CH OP), Post Fader | 3 |
| Stereo Cue - Post Fader, ALT source | 3 |
| FX Sends 1 & 2 and Stereo Returns (ST RET) | 4 |
| Channel Pan, Fader, Cut & Solo | 5 |
| X-Desk Master Section | |
| Master Mix Bus | 6 |
| Headphone output and iJack Input | 6 |
| Monitoring and Talkback | 7 |
| Control Room Monitoring | 8 |
| Power Up Options | 8 |
| Cascading X-Desks | 9 |
| Using X-Desk with an X-Rack | 9 |
| Racking your X-Desk | 9 |
| Connections | 10 |

Introduction

The centre of your SSL scalable studio.

AWS 900+ SE、Duality、Matrix と同じく SuperAnalogue™ の DNA を継承した新しいコンソール X-Desk が登場しました。

このコンパクトな SSL アナログ製品をご購入されたお客様が楽しんでいただけることを願っております。

X-Desk は、SSL の SuperAnalogue™ の 16 チャンネルの SSL SuperAnalogue™ サミングミキサーでありながら、あなたのスタジオの強力かつコンパクトなアナログオーディオハブとして機能します。

一見、X-Desk は、比較的シンプルなアナログコンソールであるように見えるかもしれませんが、しかし、この X-Desk には、あなたのスタジオセッションワークフローを高める革新的な特徴があります。もしあなたが経験豊富なベテランのエンジニアであってもいくつかの革新的な機能にお気づきになると思います。

コンピューターベースの DAW (Digital Audio Workstation) の普及により、小規模スタジオからアナログデスクが減少してきました。しかし DAW ユーザーの多くが必ずといって良いほど、どこかでオーディオに関するなんらかのつまずきを経験しています。アナログデスクのアドバンテージは、スタジオセッションワークフローの簡素化にあります。また時間の経過とともに、SSL の人間工学に基づいたクオリティーやサウンドの素晴らしさをご実感いただけることと思います。

さて、実際にはどのようにして X-Desk をあなたのスタジオシステムに統合できるか？とお考えになっていることと思います。製品パッケージに付属している **Installation Guide** には、いくつかの接続例が提示されてありますので、そちらをご参考下さい。

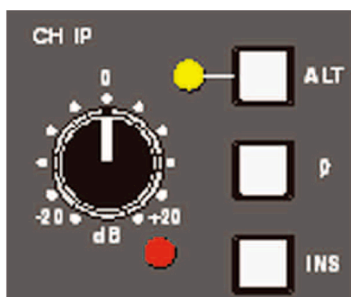
X-Desk をあなたのシステムへ組み込むプランを練るには時間がかかるかもしれませんが、後にあなたのスタジオシステムがより良いものとなります。しかし、途中でシステム変更することは決して悪いことではありませんから納得のいくまであれこれ試してください。

X-Desk は、人間工学的に基づいた洗練されたデザインのデスクトップミキサーです。既存のスタジオにも導入しやすいよう、19 インチラックマウントも可能な 7U サイズで、ラックマウントアングルは取り外し可能となっています。また X-Desk は最大 8 台までリンクして使用できます。また X-Rack と組み合わせることにより、最大 160ch 入力のミックスダウンが可能となります。

X-Desk のフレームや高品質なコンポーネントは全て、他の全ての SSL SuperAnalogue™ 製品と同様に英国で設計および製造されています
これは、あなたの傑作を生み出すための第一歩となるかもしれません。存分にお楽しみください！

The X-Desk Channel Strip

Input-Channel Input(CHIP),Alternate Input(ALT)



X-Desk はそれぞれのチャンネルに2つのインプットを持っています。

通常、ひとつめの方には、マイクプリやD.I.のアウトプットからラインレベルの信号を接続します。背面のコネクター部には「*LINE IN*」と表示されています。

ふたつめの方、すなわち ALT 入力には通常、モニターリターンのプレイバック信号（例えば Daw のアウトプットからの信号）などを接続します。背面のコネクター部には「*ALT IN*」と表示されています。

CHIP を ALT IN 側にするには CHIP 部の **ALT** のボタンを押してください。

CHIP 部には他に：

- ・ センターを 0 として ±20 dB 可変できるレベルトリム
- ・ 位相反転スイッチ
- ・ 外部の EQ やダイナミクスをインサートする **INS** ボタンが付いています。各チャンネルのインサートのセンド・リターンの接続は背面のコネクター部です。

レベルトリムの右下にある LED は 3 色で入力レベルを表示します。

初期設定では：

| | | |
|---|---|----------|
| 緑 | → | -24 d Bu |
| 黄 | → | +4 d Bu |
| 赤 | → | +21 d Bu |

X-Desk はメーター表示を変更できるので（8 ページを参照）

その場合：

| | | |
|---|---|----------|
| 緑 | → | -24 d Bu |
| 黄 | → | 0 d Bu |
| 赤 | → | +16 d Bu |

※赤の LED は実際のクリッピングレベルより少し前に点灯するのでレコーディング時には便利です。

Outputs - Direct Channel Outs(CHOP),Post Fader

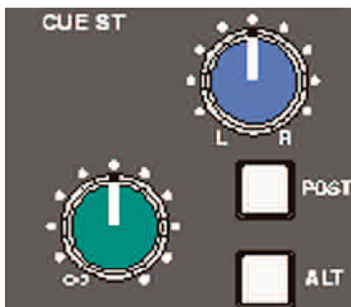


X-Desk のそれぞれのチャンネルにはダイレクトアウトがあります。(CHOP)

CHOP は主としてレコーダーや DAW に Input の信号を送ることに使用します。背面コネクター部の「CHAN OUT」に接続してください。

CHOP 部の **POST** ボタンを押すと CHOP の信号がフェーダーの後から送られます。

押されていない時はフェーダーの前から送られます。



CUE ST はレコーディングしているアーティストへ MIX バスとは別のレベルと PAN のバランスで信号を送ることができます。

CUE ST 部の **POST** ボタンを押すと CUE ST 信号がフェーダーの後から送られます。

CUE ST にはもうひとつ特別な機能が付いています。CUE ST 部の **ALT** ボタンを押すと背面の「ALT IN」に入力されている信号が CUE ST に立ち上がります。

そして Master section の **CUE TO MIX** ボタンを押すと、CUE のバスを経由して ALT IN の信号が MIX バスへ送られます。

この機能によって「LINE IN」の信号はフェーダー経由で MIX バスへ、「ALT IN」の信号は CUE バス経由で MIX バスへ送られるので合計 16ch のレベルと PAN をそれぞれコントロールできることになります。

※ CUE ST 部の **ALT** が押されている時は「LINE IN」へ入力されている信号は CUE ST へ送ることができません。

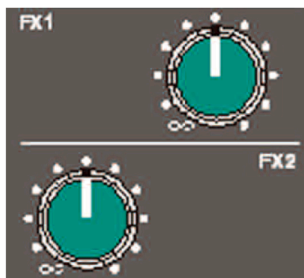


CUE ST バスのマスターセンドレベルは X-Desk のマスターセクションにあります。

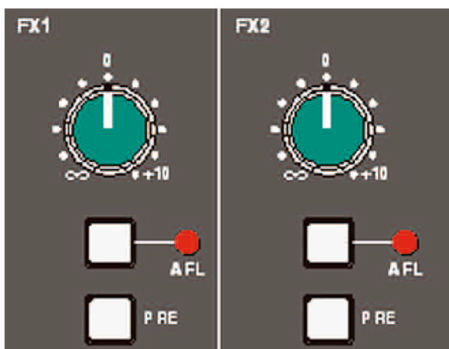
ボリュームツマミの下にある **AFL** ボタンを押すと

CUE ST バスの信号が AFL バスに送られ、その音がモニターできます。

FX Sends 1 & 2 and Stereo Returns(ST RET)



X-Desk のそれぞれのチャンネルには2つのモノ FX Sends があります。ON,OFF スイッチはありませんが、ボリュームを左に回しきると信号は送られません。



FX Sends のマスターセンドレベルはマスターセクションの右上の方にあります。

AFL ボタンを押すと FX バスに送られている信号を AFL バス経由でモニターできます。

PRE ボタンを押すと FX Sends の信号がフェーダーの前から送られます。

※各チャンネルごとに **PRE,POST** は選択できません。



X-Desk には2つのステレオリターンチャンネルがあります。

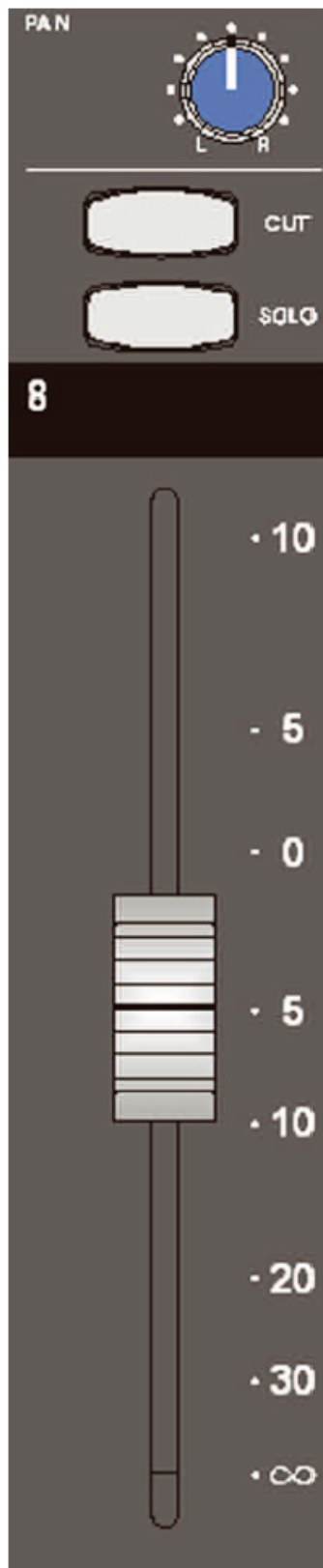
ここにはリバーブやディレイからの信号などを入力します。また、DAW のアウトプットや何か他のステレオソースを入力してもよいでしょう。接続は背面コネクター部「*CENTRE IN*」です。

それぞれのステレオリターンには **LEVEL** と **PAN** のつまみがついています。**MONO** ボタンを押すと入力信号が MONO 信号にサミングされます。

CUE と **MIX** のボタンを押すと ST RET の信号をそれぞれのバスに送ります。

※ 例えば

『レコーディング中のシンガーのモニターへリバーブを送りたいが、コントロールルームのモニターでは必要がない時などに、**CUE** ボタンだけを押し』 というような使い方があります。



Channel Pan, Fader Cut & Solo

X-Desk の各チャンネルの下の方には左図のようなフェーダー等があります。**PAN**は各チャンネルの MIX バスにおける左/右の定位をコントロールします。

Fader は MIX バスあるいは、POST 状態の CHOP のレベルをコントロールします。

また、POST 状態の CUE ST、FX 1 & 2 のレベルコントロールにも関係します。

Fader の上方の **SOLO** ボタンを押すとそのチャンネルの信号を AFL バスに送り、モニターが AFL に切替わります。

※ **SOLO** を押すと押されているチャンネルの信号だけが聞こえますが、MIX バスの信号に変化はありません。

CUT ボタンを押すとそのチャンネルの信号をミュートします。

X-Desk Master Section



Master Mix Bus

メインの MIX バスにはインサート回路が装備されていて、ステレオのマスターバスコンプレッサー等を接続できます。

「*MIX INS SEND*」と「*MIX INS RETURN*」にコンプレッサー等を接続し、「MIX LEVEL」の下にある **INSERT** ボタンを押すと上記の様な使い方ができます。

INSERT と **Σ** ボタンを押すことにより、「*INSERT RETURN*」と元々の MIX バスの信号をサミングすることができます。

これは X-Desk でミックスしたソースに外部のステレオソースをミックスしたい時などに便利です。

※ 「*MIX INS SEND*」「*MIX INS RETURN*」に外部機器が接続されていない状態で **INSERT** ボタンを押すと信号が途切れてしまいます。

CUE TO MIX ボタンは CUE ST の信号を MIX バスへ送るためのスイッチです。(これは 16ch サミングモードの時押します。)

※ レコーディング時には押されていないことを確認してください。



Headphone Output & iJack Input

CUE TO H/P ボタンを押すと CUE ST の信号をヘッドフォンで聴くことができます。これはキューボックスなどが無いコンパクトなセッティングの時にも便利です。

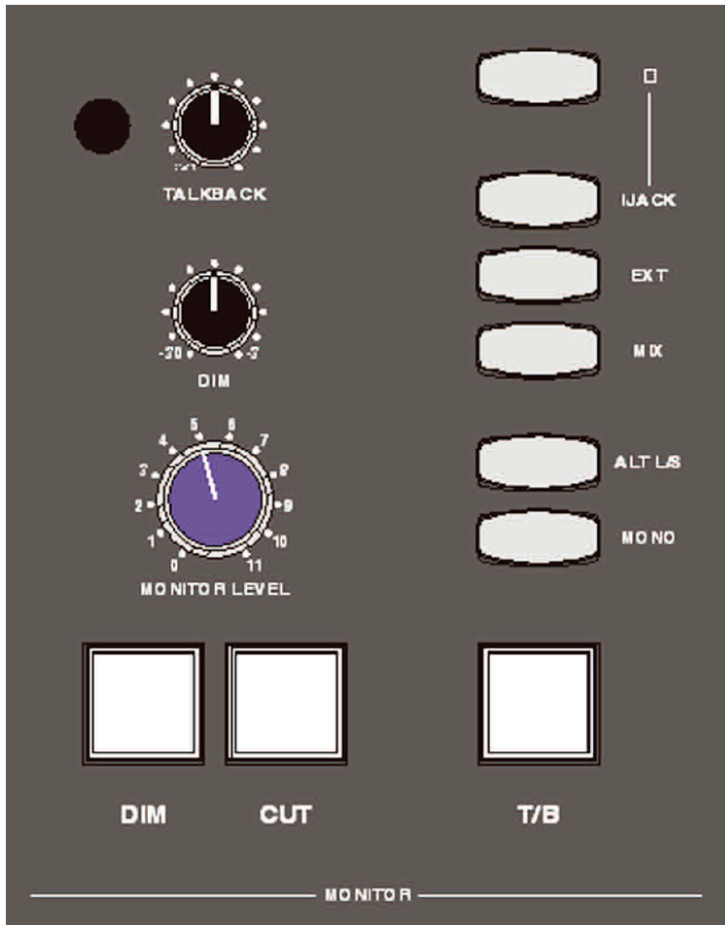
※ **CUE TO H/P** ボタンを押すとトークバックマイクの信号はこのヘッドフォンジャックへ送られます。

HP LEVEL : ヘッドフォンのレベルコントロールです

iJack Input : iPod や MP3 プレイヤーなどを接続します。

Headphone Jack : ヘッドフォンを接続します。

Monitoring and Talkback



トークバックマイクは「TALKBACK」つまみの左側にあり、**T/B**を押すことでエンジニアはアーティストと会話ができます。トークバックのレベルは「TALKBACK」つまみで調整してください。

トークバックマイクからの信号は CUE ST バスへ送られますが、**CUE TO H/P** ボタンを押すことにより、前面のジャックに接続されたヘッドフォンから聞くこともできます。

※ **CUE TO MIX** ボタンが押されている時には **T/B** ボタンを押さないで下さい。
モニターレベルによってはハウリングを起こし、スピーカー等を損傷する恐れがあります。

T/B ボタンを押すと自動的に **DIM** ボタンも押されます。

Control Room Monitoring

DIM ボタンを押すと DIM のつまみで設定したレベル分だけ (-3 d B~-30 d B) モニターの音量が下がります。

CUT ボタンを押すとモニターをミュートします。

「MONITOR LEVEL」つまみはコントロールルームのモニターレベルを加減します。

Monitor Sources

iJack : 前面の iJack ソケットに接続されている信号をモニターします。

EXT : 背面コネクタ「Centre In」の中の EXT の信号をモニターします。

MIX : MIX バスの信号をモニターします。

Σ : 上記 3 つのボタンを同時に押せるようにします。

ALT L/S : スピーカーアウトの ALT の方に信号を送ります。押されていない時は MAIN の方に送られています。

MONO : モニターがモノラルになります。

※ **iJack** **EXT** **MIX** が何も押されていない時はスピーカーから何も聞こえません。

Power Up Options

以下のボタンを押しながら電源を入れることで 2 つの設定を変更できます。

1. **T/B** を押しながら電源を入れると、**T/B** ボタンがラッチとモーメンタリーで切替可能です。

2. モニターソース部の **iJack** **EXT** **MIX** の 3 つのボタンを同時に押しながら電源を入れると、メーター表示を下記 2 種類に切替可能です。

0 d Bfs=18 d Bu

か

0 d Bfs=24 d Bu

※初期設定は 24 d Bu です。

Cascading multiple X-Desks

X-Desk の最も便利な特徴の一つが 2 つ以上の X-Desk をカスケード接続してより大きなシステムを構築できることです。

複数の X-Desk を接続するには背面の「*X-Desk Link OUT*」と「*X-Desk Link IN*」を使用します。マスターとなる X-Desk の「*X-Desk Link OUT*」は接続しません。

マスターとなる X-Desk には、スピーカーや外部機器などを接続し、MIX out、CUE ST out、FX1&2 out への接続もマスターとなる X-Desk へ行ってください。

X-Desk は最大 8 台までカスケード接続できます。

上記のようにカスケード接続すると、MIX、CUE ST、FX、AFL の各バスは X-Desk 同士でリンクすると同時に各チャンネルの SOLO ボタンもリンクします。

Using X-Desk with an X-Rack

X-Desk は X-Rack ともリンクすることができます。

もし X-Rack と 4 Line input (XR623) か 8 Line input (XR624) をお持ちでしたら、X-Desk と接続してより大きなアナログミキサーを構築できます。

その場合、X-Desk 背面の「*X-RACK EXPANSION*」と X-Rack 背面の「*MIX BUS LINK*」を接続してください。

※ この場合 X-Rack の REC バスは使用できません。

Master Bus Module (XR622) は必要ありません。

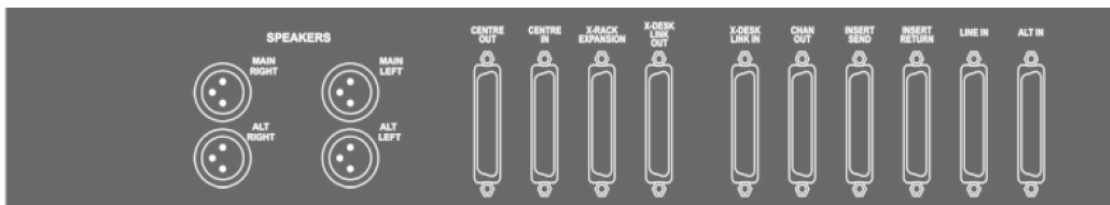
Racking your X-Desk

X-Desk には 19 インチラックマウント用のアングルが付属しています。

ラックマウントする場合には、X-Desk 本体側面の 3 つのネジをそれぞれ使ってアングルを本体に固定した上でラックにマウントしてください。

Connections

1. Rear Panel Connections



MAIN SPEAKERS XLR × 2

メインのモニタースピーカーアウトです。

ALT SPEAKERS XLR × 2

オルタネートのスピーカーアウトです。**ALT L/S**を押すとこのアウトプットに切替わります。

CENTRE OUT D-Sub 25 way female

INS SEND L+R MIX バス Insert Send

MIX L+R MIX バスアウト

CUE L+R CUE バスアウト

FX SEND1 FX1 バスアウト

FX SEND2 FX2 バスアウト

CENTRE IN D-Sub 25 way female

INS RET L+R MIX バス Insert Return

EXT L+R External ステレオインプット

ST RET1 L+R ステレオリターン 1

ST RET2 L+R ステレオリターン 2

X-RACK EXPANSION D-Sub 25 way female

このコネクタは 4 Line input module か 8 Line input module が搭載された X-Rack と接続してさらにアナログサンプリングするチャンネルを追加する為のものです。

X-Rack の AFL バスと MIX バスが X-Desk の AFL バスと MIX バスへ接続されます。

X-DESK LINK OUT D-Sub 25 way female

このコネクタは複数の X-Desk とカスケード接続する場合に使用します。
リンクするバスは以下の通りで、ここからは他の X-Desk へ信号を出力します。

| | |
|---------|----------------|
| MIX | MIX バスリンク |
| CUE | CUE バスリンク |
| FX1+2 | FX SEND1+2 リンク |
| AFL Bus | AFL バスリンク |

X-DESK LINK IN D-Sub 25 way female

このコネクタは複数の X-Desk とカスケード接続する場合に使用します。
リンクするバスは以下の通りで、ここには他の X-Desk からの信号を入力します。

| | |
|---------|----------------|
| MIX | MIX バスリンク |
| CUE | CUE バスリンク |
| FX1+2 | FX SEND1+2 リンク |
| AFL Bus | AFL バスリンク |

CHAN OUT D-Sub 25 way female

各チャンネルからのダイレクトアウトです。PRE と POST が選択できます。

INSERT SEND D-Sub 25 way female

チャンネル 1-8 のインサートセンドです。

INSERT RETURN D-Sub 25 way female

チャンネル 1-8 のインサートリターンです。

LINE IN D-Sub 25 way female

主なチャンネルインプットです。

ALT IN D-Sub 25 way female

2つめのチャンネルインプットです。CHIP の **ALT** を押すか、CUE ST 部の **ALT** を押すと使用できます。

2. Front panel Connections

iJack **Stereo 3.5mm jack**

Headphones **Stereo 1/4" jack**

Solid State Logic
S O U N D | | V I S I O N

ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン株式会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-55-14 Tel: 03-5474-1144 Fax: 03-5474-1147